

平成30年度第1回三重大学医学部附属病院監査委員会議事概要

日 時 平成30年9月26日(水) 10:00~11:45

場 所 三重大学医学部附属病院外来棟4階 応接室1

出席者

○委 員

鈴木明(委員長), 片山真洋, 小池敦, 西井恵子, 原健二

○三重大学附属病院出席者

伊藤病院長, 兼児副病院長, 奥田薬剤部長, 山田臨床工学部副部長補佐, 奥村医療安全管理部看護師長, 岩本医療安全管理部看護師, 水谷医療安全管理部薬剤師, 向原薬剤部薬剤主任

○三重大学陪席者

服部監事(業務監査担当), 水谷監査課長, 山田医学・病院管理部長, 山崎総務課長, 土屋医事課長, その他事務担当者

〔配付資料〕

- ・資料1 平成30年度病院立入検査(医療監視)実施報告(東海北陸厚生局・三重県)
- ・資料2 医療に係る安全管理の組織体制
特定機能病院に係る業務報告書(医療安全関係)
- ・資料3 調査委員会報告書(席上配布)
院内巡視用病棟図面

事 項

1. 病院立入検査の結果について(資料1)

兼児副病院長より, 資料1に基づき, 平成30年9月6日に実施された平成30年度病院立入検査(医療監視)について, 実施報告があった。資料に基づき, 検討を要する事項等について確認した。

2. 三重大学医学部附属病院における医療安全管理体制について(資料2)

兼児副病院長より, 資料2に基づき, 本院の医療安全管理体制について説明があった。

3. インスリン事例について(資料3)

兼児副病院長より, 資料3に基づき, 本院で発生したインスリン事例について概要とその後の対応について報告があった。

病棟の院内巡視を実施した。インスリン使用時の状況について説明があり, 病棟の業務内容の説明を受け, 現場の状況を確認した。

4. 今後の監査方針について

鈴木委員長より、以下のとおり講評が行われた。

事項1については、指摘事項等について適切に対応されている。

事項2については、特に問題は指摘できない。今後もより良い医療安全管理委員会の体制（委員の構成、議論の進め方）構築に向けて議論を継続していただきたい。

事項3、インスリン事例については、病院全体としてのシステムを見直し、スタッフをサポートする体制が整えば、このような事例が発生しにくくなると考えられる。具体的には、マニュアルや手順を現場の状況を考慮した実施しやすいものに見直すこと、病院環境の整備を行うこと、従業者の研修を行うことなどが必要である。また、それらが適切に実施されているか一定の頻度でモニタリングを行うこともお願いしたい。

鈴木委員長より、平成30年度の本委員会における監査方針について説明があり、次のとおり決定した。

- 次回開催：平成31年2月（開催日は後日決定）
- 監査方針：
 - ・今回の意見への対応状況の確認

5. その他

特になし。

以 上